

コード	301010101
記入日	H24.5.17

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	釜崎 信弘

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	食生活改善推進活動補助事業
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30101	基本事業名称	健康づくりの推進	目コード	1
事務事業コード	3010101	事務事業名称	保健衛生総務管理事業費（人件費以外）	細目コード	1193
関連計画	健康づくり計画	法令・条例規則等	新上五島町食生活改善推進員設置要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 住民		(対象指標1)	22,720人口(H23.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・食生活改善推進活動補助金を1,273千円交付した。	*****	*****	*****	該当する団体が1団体のため。	*****
		① (達成率分析)	補助金交付団体数	1団体		100%
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・食生活改善思想の普及と実践活動等の事業を積極的に実施することにより、町民の健康増進と体力向上に寄与することを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析)	*****	*****	*****	現委員数132人÷予定人数132人
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 団体	6	6	5	1	1				
	②									
成果指標	① 人	825	825	693	132	132				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	29,047	29,047	25,674	3,373	3,373				
直接事業費 A	千円	16,447	16,447	15,174	1,273	1,273				
人件費 B	千円	12,600	12,600	10,500	2,100	2,100				
内訳	従事職員数	人	1.8	1.8	1.5	0.3	0.3			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	29,047	29,047	25,674	3,373	3,373				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	町民の健康増進の推進は普遍的なものであり、食をとおしての町民の健康維持の観点から、当然町が行うべき事業である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	子供から高齢者までを対象とし、身近な活動を積極的に進めており、効果的である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	国・県・町が一体となり事業を推進することにより、さらに効果を高めることは可能である。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	旧町単位ごとに様々な事業を展開しており、食を通じての健康増進という形で、大きな成果を得ている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられない	理 由	町民を対象にした実践的な活動であり、今以上の費用や業務量の削減はできない。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	地域での食生活改善思想の普及活動により、生活習慣病をはじめとする各種疾患の予防、住民の健康増進のため本組織を育成し活動を支援することは有効であると判断する。
----------------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。